

自衛隊から災害救助即応隊への改編訴え はなおか しげる **花岡 蔚さん(77)**

自衛隊を廃止し、希望者全員を雇用し国内外で災害救助を行う「災害救助即応隊」に改編する構想を記した初の著書「自衛隊も米軍も、日本にはいらない！」を出版した。

「世界中から軍隊をなくし恒久平和を実現する活動がライフワーク。憲法9条を持つ日本がまず率先すべきだ」

本を書くきっかけは2017年5月、当時の安倍晋三首相が自衛隊の存在を明記した改憲を実現し、20年に施行したいと明言したことだ。

「あちらはスケジュールを区切った。こちらもカウンターパンチを出さないと」。25年までの実現が目標だ。

17年当時は、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島各県の仮設住宅などで、サックスを演奏し演歌を歌う慰問演奏会を続けていた。13年4月から18年10月までに120カ所を訪ねた。

「今のままの防災体制では次の自然大災害から住民を守れないという思いと憲法が脅かされる危機感が重なった」

この人



災害救助即応隊は平時は領海や領空を警備する。武器の保有は必要最小限。正当防衛以上の反撃はしない。構想実現へ「与野党を超えた国民運動を起こしたい」。(新開浩)

2020.11.15

[花岡さんの報道記事↑](#)